

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課  
 担当名: 主穀担当  
 内線: 4145

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P35	水稻高温耐性品種の生産振興対策事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	令和7年度～令和9年度	根拠法令	なし				針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2, 13 SDGsターゲット 2-4, 13-1
1 事業概要	高温に対応した安定生産技術の確立・普及、及び種子生産体制の整備を行い、水稻高温耐性新品種「えみほころ」の速やかな導入を図る。  ア 高温に対応した安定生産技術の確立・普及 △1,103千円 イ 高温耐性品種の種子生産体制の整備 △2,880千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 高温に対応した安定生産技術の確立・普及 5,881千円 高温対策を組み込んだ水稻高温耐性品種「えみほころ」の栽培マニュアルの策定、栽培展示ほの設置による安定生産技術の実証、省力施肥体系の確立を行う。 イ 高温耐性品種の種子生産体制の整備 10,100千円 種子産地に対し、種子の調製に必要な機械の導入、施設の改修等に対する支援を行う。  (2) 事業計画 ア 高温対策を組み込んだ栽培マニュアルの策定 栽培マニュアルに基づいた展示ほの設置 県内8か所 イ 種子の調製に必要な機械導入・施設改修への支援 1地区  (3) 事業効果 水稻高温耐性品種「えみほころ」の作付が拡大し、水稻生産者の経営安定化が図られるとともに、県民に高品質な県産米が安定的に供給される。 【活動指標(アウトプット)】 栽培マニュアルに基づいた栽培展示ほの設置8か所、栽培講習会や現地検討会の開催8回、種子調製機械導入・施設改修への支援1地区 【成果指標(アウトカム)】 「えみほころ」の作付面積1,200ha、県育成品種3等米・規格外米の割合11.3%  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携 JA等農業団体との連携  (5) 補正予算の概要 事務費削減、補助金の要望額が当初の予定を下回ったことによる減額						
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ 水稻高温耐性品種種子生産体制整備補助金 (県1/2)事業者1/2									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額	
決定額	△3,983							△3,983	11,998	
現計額	15,981							15,981		

## 事業内訳書

事業名	水稻高温耐性品種の生産振興対策事業		
単位事業名	高温に対応した安定生産技術の確立・普及	予算額	△ 1,103千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,103	—	
合計	△1,103	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△90	—	関係機関との打合せの減
需用費	△740	—	調査用消耗品、事務用品、燃料費の減
役務費	△273	—	通信費の減
合計	△1,103	—	

単位事業名	高温耐性品種の種子生産体制の整備		予算額	△ 2,880千円
-------	------------------	--	-----	-----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,880	—	

単位事業名	高温耐性品種の種子生産体制の整備	予算額	△ 2,880千円
-------	------------------	-----	-----------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△2,880	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△100	—	通信費の減
負担金、補助及び交付金	△2,780	—	補助金の要望額が当初の予定を下回ったことによる減
合計	△2,880	—	